

会 議 録

名 称	目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会（第2回）
日 時	平成28年2月5日（金）午後6時30分～午後8時
会 場	目黒区総合庁舎 大会議室
出席者	<p>委員）中井委員（座長）、瀬地山委員、岩井委員、青木委員、佐藤委員、市川委員、米本委員、牧野委員、橋本委員、後藤委員、小林委員、金井委員</p> <p>合計 12名</p> <p>欠席者 中野委員（副座長）、金子委員、市塚委員、團村委員、小池委員、鈴木委員</p> <p>区側）企画経営部長、総務部長、危機管理室長、産業経済部長、文化・スポーツ部長、都市整備部長、街づくり推進部長、環境清掃部長、政策企画課長、施設改革推進課長、広報課長、西部地区サービス事務所長、高齢福祉課長、障害福祉課長、健康推進課長、子育て支援課長、保育課長、地区整備事業課長、みどりと公園課長、住宅課長、環境保全課長、教育指導課長、生涯学習課長、事務局</p>
傍聴者	○有（ 2名） ・ 無
配布資料	<p>資料1 パブリックコメントとして寄せられた意見について</p> <p>資料2 目黒区人口ビジョン案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略案について</p> <p>資料3 懇話会での意見に対する考え方</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）パブリックコメントとして寄せられた意見について</p> <p>（2）目黒区人口ビジョン案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略案について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
会議の結果 及び 主要な発言	<p>（会議の結果）</p> <p>1. 開会</p> <p>座長：</p> <p style="padding-left: 2em;">何名かの委員の方が、まだ着いていませんが、おいおいお見えになると思う。前回の会議録の確認について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局：</p> <p style="padding-left: 2em;">前回の会議録について、各委員に確認をお願いしたところ次の点について変更があった。会議録の3ページ目、6行目あたり、希望出生率1.5という数値を掲げることについての記載、4ページ目、上から4行目あたり、希望出生率に関する記載、6ページ目、最初の委員の発言の表現、8ペー</p>

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>ジ目、2人目の委員の、みこしの担ぎ手の話の冒頭の表現、次の委員の「メディアとしての立ち位置で」という表現。以上について、確認用会議録から変更があった。</p> <p>座長： 前回の会議録の修正点があれば、会議の終了時に意見を頂きたい。 (委員一同「異議なし」)</p> <p>座長： 傍聴希望者1名(最終的には2名)の傍聴を許可する。</p> <p>2. 議題</p> <p>座長： 議題、「パブリックコメントとして寄せられた意見について」と「目黒区人口ビジョン案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略案について」に、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局： 資料1、資料2及び資料3により説明。</p> <p>座長： 資料の目黒区人口ビジョン素案と目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案は、前回と同じものか。今日、修正の提案は、まだ反映されていないという理解でよいか。</p> <p>事務局： 素案は、前回と同じである。本日は、修正の考え方を示させていただき、本日の意見も踏まえ、最終案に盛り込んでいく。</p> <p>座長： 不足や修正箇所について、自由に発言いただきたい。</p> <p>委員： 出生率に関しては、表現を修正していただき、感謝している。その上で、女性の生涯未婚率が高いということをもう少しポジティブに評価すべきだと考える。人口ビジョン素案の14ページ目はニュートラルな表現だが、総合戦略素案の6ページ目では「特に女性では、生涯未婚率が22.8%」と、女性のみ小数点1桁まで例示している。それが全国平均の2倍以上で、「かつ東京都全体の平均の20.1%をも」というのは、ある価値判断が入った表現に聞こえ、注意しなければいけない。もう一点、22.8%と20.1%を比べ、「をも上回っている」と言っているが、それほど大きな差ではなく、「ほぼ同じ」と言うべき。22.8%は、確かに全国平均の2倍以上ではあるが、約2倍というくらいの意味ではないか。つまり、この辺りの表現が、何かいかにも女性に子どもを産めと言っているように聞こえる。</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>事務局： ご指摘いただいたような誤解を生まない表現に修正する。</p> <p>座長： まち・ひと・しごと総合戦略だが、「ひと」の話が多く、次に「まち」の話がある。しかし「しごと」の話が非常に弱い。例えば、渋谷区の辺りにかけて山手通り沿いに、いろいろ新しいタイプの企業が出てきている。こういう仕事を求めている人に情報を提供し希望の雇用に就けるようにすることは、きちんと書いてある。しかし、新規創業や付加価値の高い産業発展などの視点や、家賃が相対的に安い木造密集地域の住宅地において若い人たちが新しい仕事を興せるような仕掛といった視点はないのか。</p> <p>産業経済部長： 本区の創業支援については、例えば、融資の斡旋では、利率が0.3%になる補助や、信用保証料を100%区が払う補助を行っている。また、中小企業診断士等の専門家による創業相談も実施しており、ある程度、創業計画の形ができてきた段階で、今度は創業支援として融資の斡旋を行うことで、一連の取組としていた。若者に特化した形で展開できるような支援は打ち上げていないが、ベーシックな形での創業支援はこれまでもやってきた。そうした前提の上で、総合戦略素案では、産業競争力強化法に基づく創業支援の強化を挙げている。</p> <p>委員： 前回の懇話会での皆さんの意見のポイントとしては、分野が広がりすぎている点と、数値目標の具体的な論拠及び実現可能性について示してほしいということだった。「総合戦略素案では、施策が非常に多岐にわたりすぎて一つひとつが目立たない」ということに対しての目黒区の考え方は、「全体像を把握しやすくするため、施策の体系図や事業の一覧を追加します」となっている。素案の中身は維持したままで表記の仕方を変えるということなのか、はたまた取捨選択をするのか確認させていただきたい。同じくKPIについても、「より分かりやすい記載となるように検討します」ということについては、具体的な指標の例、算出の仕方があれば教えていただきたい。</p> <p>事務局： 事業について「広がっていて網羅的」ということだが、事業の中でも新規及び既存のものがある。また、本区の基本目標は、国の基本目標の順番を入れ替えている。出産・子育てに関して、国は2つ目だが、本区はそれを一番最初に基本目標1として持ってきており、その記載順序が1つの考え方を示したものと考えている。ただ、表記方法については、少し検討さ</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>せていただきたい。</p> <p>KPI については、算出根拠が難しく、例えば、他自治体でも保育施設をこの計画に基づいて何か所設置しますというものが多くなっている。現状値に対し、その変更値を掲げることで、今後のあり方を表示している。一方、数値目標というのは、いわゆる意識調査や世論調査などに基づいて出てくる数字になっている。例えば子育てで言えば、保育所を何か所つくり、区民が子育てに対して満足するような魅力をつくっていくということと考えている。一方、待機児童対策としてはゼロにするということで、明確なものを設けている。また、KPI は、例えば関連項目の趨勢や日常的に行っている業務の中から考えられる具体的な数値としている。</p> <p>委員： 優先順位の分かりやすい資料をお願いしたい。</p> <p>座長： モニタリング及び PDCA サイクルは、いつやるのか。</p> <p>事務局： 明確に何年というふうに考えていない。世論調査などであれば3年ごとにやっている。5年間の計画のため、それまでに調査し、確認することなどを考えている。</p> <p>委員： 1点目、高齢者の方や女性の方への就労支援が27ページにあるが、具体策を教えてください。 2点目、32ページに、国内の自治体との交流がうたわれているが、この交流の中身はどんなものを想定しているか。 3点目、34ページに、東京オリンピックに向けての施策ということで、多言語の表示などの記載があるが、特に外国の方への対応におけるソフト面の課題について、教えてください。</p> <p>産業経済部長： 1点目の、27ページの対象者別就労支援セミナーの実施について、これは、現在でも対象者別に実施している。「ワークサポートめぐろ」において、就労支援セミナーということで定期的に実施する枠を設けており、これらを含めて総合的に就労のマッチング行っている。これについて継続してやっていく。</p> <p>文化・スポーツ部長： 2点目、国内自治体交流に関して、現在、目黒区は、宮城県の角田市と気仙沼市と交流している。今後、その可能性が広がるかどうかについては、交流希望がある自治体とお互いに情報交換しながら進めていきたい。交流</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>内容としては、子どもたちの交流、あるいはスポーツの交流、文化に関する交流を行っており、今後も地道に広げていきたい。3点目、オリンピックに向けてのおもてなしについては、昨年3月に、「目黒区観光ビジョン」を改定した。その中で、案内標識の多言語化、ピクトグラム化、回遊手段の整備、そして観光案内名所など、オリンピックに関連したプログラムを提案している。</p> <p>委員： オリンピックに関連し、目黒区が住宅地だとすると、民泊への対応はどのようなものか。</p> <p>企画経営部長： 民泊について、目黒区は今の段階では、慎重に考えている。目黒区は住宅地が主であるため、マンションか戸建てかを問わず、民泊を実施する場合には、周辺にお住まいの方の理解を得ながらやらなければ地域に根付いた取組にならない。先行している大田区の事例をみて、目黒区での取組方を研究していきたいが、直ちに取り組むという考えは現時点ではない。</p> <p>委員： 民泊に出すアパートが続出するはずだが、対応策の検討をするべき。</p> <p>企画経営部長： ご指摘のとおり、現行の体制の中でチェック体制など考えなければいけないと考えている。</p> <p>委員： 「目黒区まち・ひと・しごと総合戦略の具体的な施策の内容や数値の推移については、目黒区基本計画や補助計画の整合性を図りつつ策定した」とあるが、その整合性には心配している。財政との関連について、承知している範囲で教えていただきたい。</p> <p>事務局： 財政との関係は非常に重要なことで、ご承知のとおり本区においては、緊急財政対策に取り組んだところである。基本計画や補助計画など、さまざまな計画があるが、財政的な裏付けがあるのは実施計画だけである。総合戦略は、施策内容としては各計画と整合を取っているが、毎年の予算編成の中で、その時期に何をやるのかというのはきちんと判断していくことになる。</p> <p>座長： 参考までに、中期くらいの財政の見通しを教えていただきたい。</p> <p>事務局： 来年度の予算案が約900億円。基金も一時期はかなり少なかったが、今</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>は、財源対策に活用する財政調整基金は 100 億円を超えていて 120～130 億円となっている。長期的には分からないが、ここ 5 年間くらいの財政計画でいけば、現状と同様の形で予算は組んでいけると考えている。ただ、財政計画上では、数年先には基金を取り崩すようなことも出てくる。もし、リーマンショックのようなことが起きると、計画というのが全く変わってくるので、しっかり注視していかなければならない。</p> <p>委員：</p> <p>民泊の件だが、オリンピックは学生が休みとなる夏休みに開催される。ワンルームマンションを多数貸し出すことが起きかねないので、対策を考えておいたほうがよい。</p> <p>企画経営部長：</p> <p>目黒区だけの問題でもないが、そういう状況に対する対策を考える必要はある。</p> <p>委員：</p> <p>福祉の観点で施設などのハードの面はとても充実しているが、看護・介護スタッフや、保育士といったマンパワーの面を不安に思っている。施設が整ってもスタッフが集まらない状況があるように思う。また、列記されている多様な高齢者施設を建設する土地の確保にはあてがあるのか。もう 1 つ、都市型軽費老人ホームが最近 1 つ出来たが、入居者がなかなかいないという現実があった。ホームを充実しても入居者がいないというのは何が原因だったのか、あるいは原因をなくすために、どんな PR が必要だと考えているのかお聞きしたい。</p> <p>高齢福祉課長：</p> <p>例えば、特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護などの整備については、国有地や公有地、第 4 中学校跡地や旧第 6 中学校跡地のような区の用地を活用していく。</p> <p>都市型軽費老人ホームは、軽費と言っても、所得に応じて一定の負担がかかる。それから、自由に自分のアパート等で暮らしてきた方にとっては団体生活への抵抗がある。もっと周知をしていけば、希望者、利用者も増えていくと考えている。</p> <p>マンパワーについては、平成 28 年度に民間特別養護老人ホームが職員のために借り上げた住宅について、区が補助金を出すというものを予算計上している。</p> <p>委員：</p> <p>先ほど、施策の優先順位について説明されたが、それと関連して、出生率が上がればいいなというところと、安心して子育てができたり、住み慣</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>れた地域で生活し続けられることが重要ということ、第一目標として挙げている。これに必要なこととして、次の2点が重要ではないか。</p> <p>1つ目が競争力、立ち位置等の差別化を図ることが、目黒区に人が集まる要因。そして、もう1つが、区民の方の生活力を底上げするような施策で、それがなかなかかなわない方に対しての生活援助だと思う。</p> <p>立ち位置等の差別化というところで、宮城県の自治体との交流事業の実施であったり、リバーサイドマラソンへの大会の参加などがあるが、もう少し対象を子どもに設定した交流イベントはあるのか。</p> <p>生涯学習課長：</p> <p>子どもの交流イベントについては、中学生を対象とした2泊3日の自然体験ツアーを実施している。気仙沼の大島観光協会にご協力をいただき様々な自然体験を行っている。</p> <p>委員：</p> <p>何名くらい参加者を募っているのか。</p> <p>生涯学習課長：</p> <p>20名程度となっている。</p> <p>委員：</p> <p>子どもたちの教育環境として、体操教室や幼児教室などが主催するキャンプ体験等自然体験イベントに、すごく高いお金を払って親が参加させたがる。こういったことを、区がせっかく姉妹都市として結んでいるのであれば、例えば気仙沼の漁業体験とか、そういった所に足を運ぶ機会を増やすというのも面白いと思う。</p> <p>生涯学習課長：</p> <p>気仙沼市のほかに、角田市とも友好都市協定を結んでおり、小学生の交流を行なっている。現在、角田市への派遣は休止しているが、受入れは実施しており、3月25日～27日まで2泊3日で目黒区の家庭にホームステイするというので、現在、ホストファミリーを募集している。こちらは、角田市の子どもたちが、目黒区で都市の中での生活を体験しながら、ホストファミリーと交流する事業である。子どもの交流・体験事業については、ご指摘の意義を踏まえ、今後とも検討を進めていく。</p> <p>委員：</p> <p>他地区でないようなニーズを拾っていくことが、重要だと思う。もう1点は、雇用のマッチング支援などで、シルバー人材センターの支援があるが、実際、私どもの会社で軽作業をお願いしたいときに、こちらを活用させていただいたが、現状、軽作業を請け負うことはできなくなっているということだった。ここに記載されている事業も、その実現可能性について、</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>一つひとつ検証が必要ではないかと考えている。</p> <p>委員： 「まち・ひと・しごと」の「しごと」がほとんど出ていない。新しい仕事や創業を手伝うといったことを掲げているが、そういう人たちが来ないのは、情報や彼ら同士が集まれるような場所がないからではないか。そういう人が集まれるような場所や援助等する場所をつくってほしい。稼ぐための施策がほとんどないということになる。</p> <p>産業経済部長： フリーに集える場所は確かにないかもしれないが、創業相談というかたちで、アドバイスはさせていただいている。また、今回の素案の中でも入れさせていただいたが、31 ページのところで、起業体験イベントが東京工業大学の関わりをもって行われている所に、試行的だが参加の支援に取り組んでいきたい。また、これまでも地域のものづくりに対する支援に補助を出しているが、ものづくりは1年で形になるものは少なく、補助のタイミングが難しい。成果をプレゼンしてもらおうなど地道に行っている。</p> <p>委員： 意思のある方をどう集めるかが大事。他区に行かれないように、その人たちをこちらに集めるとかいうことを考えないと、いつまでたっても難しい。</p> <p>委員： インバウンドで受け入れてはいるけれども、子どもたちをアウトバウンドで出していない。宿泊施設は非常に安いので、やろうと思えば、それほど難しいことではないはず。インバウンドができるのであれば、当然アウトバウンドも簡単に保護者負担でできるはずではないか。</p> <p>もう1点、シルバー人材センターは、区によっていろいろ規則があるようだが、家事サービスがどこまで認められているのか。60歳以上で主婦しか経験がないという女性はたくさんいて、それを必要としている家庭もたくさんある。真剣にそこを宣伝すると、本当に需給が合う可能性があると思う。</p> <p>委員： 子育てをしながら働く女性というのは本当に増えてきているので、時短で働くという方もかなり多い。最近是在宅勤務的な、会社に行かない人も増えてきている。そういったところで、家の近くに情報通信的なセキュアなポイントで、オフィスの少し使えるところがあると、時間短縮だから補助的な仕事をしていればいいという時代でもないのです、会社が認めるようなところを住宅地の多い目黒区の中につくっていただくと、目黒の女性</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>たちは生き生きとして働けるようなこともあるのではないか。</p> <p>委員：</p> <p>子どもたちは 2020 年のオリンピックをととても楽しみにしていて、直接見たいなといつもみんな話している。例えば、世田谷区などは、キャンプ地に総合運動場などが指定されていて、工事が進んでいる。おそらく、あそこにアスリートが来るということで、世田谷区の子どもたちは、見られるかどうか分からないのだけれども、とてもそれを楽しみにしている。目黒区ではそういう計画があるのかどうかというところが1つ。</p> <p>あと、例えば、子どもたちは何か、見られないにしても、オリンピックと直接関わるようなことを、おそらくしたいと思っていたり、考えていると思う。目黒区を通して、例えばオリンピック委員会に何か働きかけていただき、区に申し込めば何かオリンピックの、例えば会場整備でもいいし、目黒区にいたから関われるという計画などがあったら教えていただきたい。</p> <p>文化・スポーツ部長：</p> <p>例えば練習会場候補地が、今、区内に3か所あるが、練習会場として使われる場合はシャットアウトとなる。区民の方は、セキュリティ上の課題もあり、見られないという状況だと聞いている。</p> <p>ただ、もう二度と来ないかもしれないオリンピックが東京に来るので、何らかの関わりを持ちたいと考えている。例えば世田谷区は、いち早くアメリカと協定を結んだが、目黒区としては、ホストタウン的なことを調整しようと区内大使館に働きかけている。区内の大使館は14あるため、どこがどうなるかは分からない。区内の小中学校にはぜひオリンピックを招致して、交流ができれば、また一つの国際交流、国際理解のきっかけとなると私たちも考えている。</p> <p>座長：</p> <p>では、今後の進め方について事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局：</p> <p>今日頂いた意見とパブリックコメントの意見を踏まえ、どう反映させていくかということも含めて検討する。案として今月中くらいには練り上げて、3月には決定する。</p> <p>座長：</p> <p>素案が案に昇格するということが、委員には伝えるのか。</p> <p>事務局：</p> <p>案がまとまった段階で送付させていただく。</p> <p>座長：</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>それでは、区のほうでこのあとの作業に移り、案になった段階で、委員の皆様へ一度フィードバックする。それから、第1回目の議事録については確認をいただいたこととする。今日の議事録についても委員の皆様へ送付するので、チェックいただき、必要があれば修正をお願いする。最終的には確認は座長のほうで行う。以上で、懇話会は終了とする。</p> <p>事務局：</p> <p>今日頂いたご意見も踏まえ、また、パブリックコメントも今、各所管に送付し、それぞれの意見に対しどう対応すべきか検討している。全体として意見が活かせるように検討し、案がまとまった段階で、また皆様へ送付したい。</p>
-------------------------------	--